

# 平成28年度熊本県計画に関する 事後評価

令和3年（2021年）1月  
熊本県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【介護 No.29-3】 介護職員勤務環境改善支援事業	【総事業費】 34,238 千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県内全域	
事業の実施主体	介護施設等を有する事業者等	
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日 ■継続 / □終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護ロボットを利用することは、介護従事者の身体的負担軽減や介護業務の効率化を可能とするものであり、介護従事者が継続して就労するための環境整備に有効であるが、介護ロボットは市販化されて間もない状況にあり価格が高価である。また、介護ロボットの導入によるメリットに関する認知度が低い。	
	アウトカム指標：県内介護従事者の負担軽減による離職者の減少	
事業の内容（当初計画）	<p>介護従事者の身体的負担軽減や介護業務の効率化を図ることを目的として、介護ロボットの導入等を行う介護施設等を有する事業者等に対して助成を行う。</p> <p>1 機器につき、補助額の上限は30万円とし、導入経費60万円未満のものは2分の1を乗じて得た額を上限とする。</p> <p>1 施設当たりの導入限度台数は、施設・居住サービスは、利用定員数を10で除した数を、在宅系サービスは利用定員数を20で除した数とする。（小数点未満切上げ。）</p>	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護施設等を有する事業者等へ介護ロボット80台の導入	
アウトプット指標（達成値）	62法人79事業所において274台の介護ロボットの導入	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標</p> <p>観察できた → 指標：79事業所に対し、介護職員の負担軽減、業務の効率化に寄与する介護ロボットを導入した実績から、介護職員の負担軽減、業務の効率化に繋がっていると推察することができる。</p>	
	<p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>62法人79事業所で274台の介護ロボットが導入され、介護職員の負担軽減、業務の効率化に繋がっている。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>予算の制約があり、介護ロボットの導入に対して助成できる範囲に限りがある。そのため、導入限度台数を設定し、1事業所の上限を設定することで、より多くの事業所を支援することができるよう工夫を行った。</p>	
その他		